

平成 29 年度子ども・子育て支援推進調査研究事業  
妊産婦及び乳幼児に実施する健康診査等の  
情報管理に関する調査研究  
事業報告書

平成 30 年 3 月

株式会社キャンサーズキャン

### 3.3.2. 乳幼児健診情報等の電子データ管理

乳幼児健診（3～4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診が対象。集団実施、個別実施を問わない）について、電子データ化（情報管理システムに限らず、エクセル・アクセスなどの管理ソフトへの入力も含む）して管理を行っている情報を確認した。

電子データ化を「全対象者分している」との回答は、「予防接種実施状況」（回答自治体の89.8%に当たる1,084市区町村）や「乳幼児健診の受診状況」（回答自治体の84.9%に当たる1,025市区町村）、「健診結果総合判定」（回答自治体の81.3%に当たる981市区町村）、「歯科診察所見」（回答自治体の76.6%に当たる925市区町村）といった情報の割合が高かった（表12.1）。

一方で、「子どもの家庭環境について」（回答自治体の31.2%に当たる376市区町村）や「問診票」（回答自治体の55.4%に当たる669市区町村）といった養育環境などの背景情報や、「精密検査結果」（回答自治体の51.5%に当たる622市区町村）、「保健指導・支援の内容」（回答自治体の47.8%に当たる577市区町村）と「事後措置後の状況」（回答自治体の34.8%に当たる420市区町村）といったフォローアップ及びその結果に関する情報については、前述の項目と比較すると、電子データ化を「全対象者分している」割合は低かった（表12.1）。

人口規模別にみると、いずれの情報も、人口規模が大きくなるにつれて電子データ化を「全対象者分している」割合が増える傾向が見られた（表12.2）。

表 12.1 電子データ化して管理を行っている情報 (n=1,207)

	該当数	比率
乳幼児健診の受診状況	1025	84.9%
医師診察所見個別項目	710	58.8%
問診票	669	55.4%
保健指導・支援の必要性の有無	814	67.4%
保健指導・支援の内容	577	47.8%
健診結果総合判定	981	81.3%
歯科診察所見	925	76.6%
子どもの家庭環境について	376	31.2%
予防接種実施状況	1084	89.8%
精密検査結果	622	51.5%
事後措置後の状況	420	34.8%
計	1,207	100.0%

### 3.3.3. 医師診察所見の詳細項目

医師診察所見において、電子データ化している項目をより詳細に確認した。

「身体発育状況」は回答自治体の 64.9%に当たる 783 市区町村が電子データ化していたが、その他の項目はいずれも 5 割前後にとどまった（表 13.1）。

人口規模別にみると、いずれの項目についても、人口規模が大きくなるにつれて電子データ化している割合が増える傾向が見られた（表 13.2）。

表 13.1 電子データ化して管理を行っている医師診察所見項目 (n=1,207)

	該当数	比率
身体発育状況	783	64.9%
栄養状態	592	49.0%
脊柱及び胸郭の疾病 及び異常有無	576	47.7%
皮膚の疾病の有無	657	54.4%
眼の疾病及び異常の有無	657	54.4%
耳、鼻及び咽頭の疾病 及び異常の有無	652	54.0%
四肢運動障害の有無	638	52.9%
精神発達の状況	659	54.6%
言語障害の有無	592	49.0%
計	1,207	100.0%

### 3.4.妊産婦に実施する健康診査等の情報管理

#### 3.4.1. 妊産婦に実施する健康診査の実施状況

##### 3.4.1.1. 妊婦健診の助成方式

自治体が実施する妊婦健診の助成方法について確認したところ、調査に回答した1,207市区町村のうち78.4%に当たる946市区町村が「受診券方式」（検査項目が示された受診券が交付される）を取っていると回答し、20.5%に当たる247市区町村が「補助券方式」（補助額のみ記載の受診券が交付される）を取っていると回答した（表 21.1）。

人口規模別で見ると、人口規模が大きい自治体ほど「補助券方式」の割合が高く、10万人以上の自治体においては29.1%（69市区町村）にのぼった（表 21.2）。

表 21.1 自治体が実施する妊婦健診の助成方法 (n=1,207)

	該当数	比率
受診券方式	946	78.4%
補助券方式	247	20.5%
その他	13	1.1%
NA	1	0.1%
計	1,207	100.0%

表 21.2 自治体規模別：自治体が実施する妊婦健診の助成方法 (n=1,207)

	1万人未満		1万～3万人		3万～10万人		10万人以上	
	該当数	比率	該当数	比率	該当数	比率	該当数	比率
受診券方式	250	89.0%	255	81.5%	274	72.9%	167	70.5%
補助券方式	26	9.3%	54	17.3%	98	26.1%	69	29.1%
その他	5	1.8%	4	1.3%	3	0.8%	1	0.4%
NA		0.0%		0.0%	1	0.3%	0	0.0%
計	281	100.0%	313	100.0%	376	100.0%	237	100.0%

### 3.4.2. 妊婦健診の検査項目の把握状況

自治体が実施する妊婦健診において、国が定める標準的な検査項目に関して自治体の把握状況を確認した。

検査項目によって多少のばらつきはあるものの、調査に回答した 1,207 自治体のうち、「結果(異常所見等)を含めて把握している」と回答した自治体はいずれの項目もほぼ 5 割を超えていた(「毎回実施する検査」を除いて最も割合が高かった「B 型肝炎抗原検査」では 61.3%に当たる 740 市区町村、最も割合が低かった「血液型等の検査」では 46.5%に当たる 561 市区町村)(表 23.1)。

一方で、受診の有無を含め「全く把握していない」と回答した自治体も 1 割程度(最も割合が高かった「血液型等の検査」では 13.0%に当たる 157 市区町村)存在した(表 23.1)。

表 23.1 妊婦健診の検査項目の把握状況 (n=1,207)

	<u>受診の有無のみ</u> (望ましい基準の回数を満たしていない場合も含む)		<u>結果(異常所見等)を含めて把握している</u>		<u>全く把握していない</u>		計	
	該当数	比率	該当数	比率	該当数	比率	該当数	比率
毎回実施する検査	368	30.5%	761	63.0%	58	4.8%	1,207	100.0%
血液型等の検査	463	38.4%	561	46.5%	157	13.0%	1,207	100.0%
B 型肝炎抗原検査	353	29.2%	740	61.3%	91	7.5%	1,207	100.0%
C 型肝炎抗体検査	408	33.8%	674	55.8%	104	8.6%	1,207	100.0%
HIV 抗体検査	518	42.9%	553	45.8%	112	9.3%	1,207	100.0%
梅毒血清反応検査	421	34.9%	645	53.4%	115	9.5%	1,207	100.0%
風疹ウイルス抗体検査	430	35.6%	633	52.4%	115	9.5%	1,207	100.0%
子宮頸部細胞診	327	27.1%	710	58.8%	141	11.7%	1,207	100.0%
血糖検査	376	31.2%	691	57.2%	112	9.3%	1,207	100.0%
HTLV-1 抗体検査	439	36.4%	652	54.0%	89	7.4%	1,207	100.0%
超音波検査	405	33.6%	676	56.0%	97	8.0%	1,207	100.0%
性器クラミジア検査	459	38.0%	623	51.6%	101	8.4%	1,207	100.0%
B 群溶血性レンサ球菌 (GBS) 検査	438	36.3%	632	52.4%	110	9.1%	1,207	100.0%

### 3.4.3. 妊婦健診の検査項目の把握した内容の電子データ化

自治体が実施する妊婦健診の各検査項目について、自治体の把握状況毎に、把握した内容の電子データ化の有無を確認した。把握状況は、検査項目によって異なるが、それぞれの検査において「受診の有無のみ(望ましい基準の回数を満たしていない場合も含む)」把握していると回答した自治体と、「結果(異常所見等)を含め把握している」と回答した自治体、それぞれにおいて把握した内容の電子データ化の有無を「している」・「していない」で回答してもらった。

いずれの検査においても、「結果(異常所見等)を含め把握している自治体」は、検査項目によってばらつきはあるものの、6割程度が電子データ化を「している」と回答しており、「受診の有無のみ(望ましい基準の回数を満たしていない場合も含む)」把握していると回答した自治体に比べて、その割合は2割～3割程度高かった。

例えば、「結果(異常所見等)を含めて把握している」割合が(「毎回実施する検査」を除き)最も割合が高かった「B型肝炎抗原検査」では、「結果(異常所見等)を含め把握している」と回答した自治体(740市区町村)の66.1%に当たる489市区町村が電子データ化を「している」と回答したのに対し、「受診の有無のみ(望ましい基準の回数を満たしていない場合も含む)」把握していると回答した自治体(353市区町村)においては、39.4%に当たる139市区町村にとどまった(表表 24.1.3)。

表 24.1.1 把握状況毎の把握内容の電子データ化の有無：毎回実施する検査

把握した内容の 電子データ化の有無	受診の有無のみ (望ましい基準の回数を満たしていない 場合も含む)		結果(異常所見等)を含め 把握している	
	該当数	比率	該当数	比率
	している	148	40.2%	512
していない	157	42.7%	217	28.5%
NA	63	17.1%	32	4.2%
計	368	100.0%	761	100.0%

表 24.1.2 把握状況毎の把握内容の電子データ化の有無：血液型等の検査

把握した内容の 電子データ化の有無	<u>受診の有無のみ</u> (望ましい基準の回数を満たしていない 場合も含む)		<u>結果(異常所見等)を含め</u> <u>把握している</u>	
	該当数	比率	該当数	比率
	している	146	31.5%	321
していない	229	30.1%	216	28.3%
NA	88	19.0%	24	4.3%
計	463	100.0%	561	100.0%

表 24.1.3 把握状況毎の把握内容の電子データ化の有無：B型肝炎抗原検査

把握した内容の 電子データ化の有無	<u>受診の有無のみ</u> (望ましい基準の回数を満たしていない 場合も含む)		<u>結果(異常所見等)を含め</u> <u>把握している</u>	
	該当数	比率	該当数	比率
	している	139	39.4%	489
していない	144	18.9%	225	29.5%
NA	70	19.8%	26	3.5%
計	353	100.0%	740	100.0%

表 24.1.4 把握状況毎の把握内容の電子データ化の有無：C型肝炎抗体検査

把握した内容の 電子データ化の有無	<u>受診の有無のみ</u> (望ましい基準の回数を満たしていない 場合も含む)		<u>結果(異常所見等)を含め</u> <u>把握している</u>	
	該当数	比率	該当数	比率
	している	150	36.8%	421
していない	182	23.9%	227	29.8%
NA	76	18.6%	26	3.9%
計	408	100.0%	674	100.0%

表 24.1.5 把握状況毎の把握内容の電子データ化の有無：HIV 抗体検査

把握した内容の 電子データ化の有無	<u>受診の有無のみ</u> (望ましい基準の回数を満たしていない 場合も含む)		<u>結果(異常所見等)を含め</u> <u>把握している</u>	
	該当数	比率	該当数	比率
	している	209	40.3%	318
していない	219	28.7%	211	27.7%
NA	90	17.4%	24	4.3%
計	518	100.0%	553	100.0%

表 24.1.6 把握状況毎の把握内容の電子データ化の有無：梅毒血清反応検査

把握した内容の 電子データ化の有無	<u>受診の有無のみ</u> (望ましい基準の回数を満たしていない 場合も含む)		<u>結果(異常所見等)を含め</u> <u>把握している</u>	
	該当数	比率	該当数	比率
	している	148	35.2%	387
していない	193	25.3%	231	30.3%
NA	80	19.0%	27	4.2%
計	421	100.0%	645	100.0%

表 24.1.7 把握状況毎の把握内容の電子データ化の有無：風疹ウイルス抗体検査

把握した内容の 電子データ化の有無	<u>受診の有無のみ</u> (望ましい基準の回数を満たしていない 場合も含む)		<u>結果(異常所見等)を含め</u> <u>把握している</u>	
	該当数	比率	該当数	比率
	している	148	34.4%	371
していない	200	26.2%	236	31.0%
NA	82	19.1%	26	4.1%
計	430	100.0%	633	100.0%



表 24.1.8 把握状況毎の把握内容の電子データ化の有無：子宮頸部細胞診

把握した内容の 電子データ化の有無	<u>受診の有無のみ</u> (望ましい基準の回数を満たしていない 場合も含む)		<u>結果(異常所見等)を含め</u> <u>把握している</u>	
	該当数	比率	該当数	比率
	している	120	36.7%	478
していない	146	19.2%	203	26.6%
NA	61	18.7%	29	4.1%
計	327	100.0%	710	100.0%

表 24.1.9 把握状況毎の把握内容の電子データ化の有無：血糖検査

把握した内容の 電子データ化の有無	<u>受診の有無のみ</u> (望ましい基準の回数を満たしていない 場合も含む)		<u>結果(異常所見等)を含め</u> <u>把握している</u>	
	該当数	比率	該当数	比率
	している	120	31.9%	426
していない	178	23.4%	235	30.8%
NA	78	20.7%	30	4.3%
計	376	100.0%	691	100.0%

表 24.1.10 把握状況毎の把握内容の電子データ化の有無：HTLV-1 抗体検査

把握した内容の 電子データ化の有無	<u>受診の有無のみ</u> (望ましい基準の回数を満たしていない 場合も含む)		<u>結果(異常所見等)を含め</u> <u>把握している</u>	
	該当数	比率	該当数	比率
	している	173	39.4%	419
していない	188	24.7%	208	27.3%
NA	78	17.8%	25	3.8%
計	439	100.0%	652	100.0%

表 24.1.11 把握状況毎の把握内容の電子データ化の有無：超音波検査

把握した内容の 電子データ化の有無	<u>受診の有無のみ</u> (望ましい基準の回数を満たしていない 場合も含む)		<u>結果(異常所見等)を含め</u> <u>把握している</u>	
	該当数	比率	該当数	比率
	している	142	35.1%	423
していない	187	24.5%	224	29.4%
NA	76	18.8%	29	4.3%
計	405	100.0%	676	100.0%

表 24.1.12 把握状況毎の把握内容の電子データ化の有無：性器クラミジア検査

把握した内容の 電子データ化の有無	<u>受診の有無のみ</u> (望ましい基準の回数を満たしていない 場合も含む)		<u>結果(異常所見等)を含め</u> <u>把握している</u>	
	該当数	比率	該当数	比率
	している	168	36.6%	390
していない	207	27.2%	205	26.9%
NA	84	18.3%	28	4.5%
計	459	100.0%	623	100.0%

表 24.1.13 把握状況毎の把握内容の電子データ化の有無：B群溶血性レンサ球菌（GBS）検査

把握した内容の 電子データ化の有無	<u>受診の有無のみ</u> (望ましい基準の回数を満たしていない 場合も含む)		<u>結果(異常所見等)を含め</u> <u>把握している</u>	
	該当数	比率	該当数	比率
	している	154	35.2%	394
していない	197	25.9%	211	27.7%
NA	87	19.9%	27	4.3%
計	438	100.0%	632	100.0%

### 3.4.4.妊産婦健診情報等の電子データ管理

妊娠届けや妊婦健診、産後の健診について、電子データ化（情報管理システムに限らず、エクセル・アクセスなどの管理ソフトへの入力も含む）して管理を行っている情報を確認した。

電子データ化を「全対象者分している」との回答は、「妊娠届」（回答自治体の 90.6%に当たる 1,094 市区町村）や「妊婦健診の受診状況」（回答自治体の 73.9%に当たる 892 市区町村）といった情報の割合が高かった（表 25.1）。

一方で、「妊娠届出時のアンケート内容」については、回答自治体の 48.7%に当たる 588 市区町村にとどまり、「妊婦健診で把握された社会的支援の必要性の有無」（回答自治体の 20.7%に当たる 250 市区町村）や「市区町村における支援の経過」（回答自治体の 21.6%に当たる 261 市区町村）については、さらに低い割合となった（表 25.1）。

一方で、産後の健診については、現状は実施自治体自体が少ないため、全体としての割合は低い。産後健診を「実施している」と回答した 253 自治体においては、「産婦健診の受診状況」については 74.3%に当たる 188 市区町村が、「産婦健診の診察結果」については 65.2%に当たる 165 市区町村が、全対象者分を電子データ化して管理を行っているとは回答した（表 25.1.2）。

表 25.1.1 電子データ化して管理を行っている妊産婦健診情報 (n=1,207)

	該当数	比率
妊娠届	1094	90.6%
妊娠届出時のアンケート内容	588	48.7%
妊婦健診の受診状況	892	73.9%
妊婦健診で把握された社会的支援の必要性の有無	250	20.7%
市区町村における支援の経過	261	21.6%
産婦健診の受診状況	188	15.6%
産婦健診の診察結果	165	13.7%
産婦健診の EPDS 結果	100	8.3%
産婦健診後の支援の必要性	104	8.6%
計	1,207	100.0%